

羽ばたけ!羽島っ子

2月号

「早寝・早起き、朝ご飯
笑顔で「いってらっしゃい!」

公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse.blog.jp/hashimasyo>

自己肯定感を高める

校長 中川 辰也

自己肯定感とは、ありのままの自分を肯定する感覚のことです。他人と比べることなく、自分をかけがえのない存在として肯定し、誰かに認められたり、好意的に受け止められることで生まれます。自己肯定感が高いことは、学習や運動など、いろいろな活動に進んで積極的に取り組むための原動力となります。

そこで、自己肯定感を高めるための言葉かけ・対応のポイントをいくつか紹介します。

1 子どもを人と比べない

比べられることは、自分は劣っていると思ってしまう。

(NG言葉)

- ・お兄ちゃん(お姉ちゃん)は、100点だったのに。
- ・〇〇さんは、1位だったのに。

(自己肯定感を高める言葉)

- ・この前より〇点上がってるね。
- ・この前より上手にできるようになったね。

※ 人と比べることなく、その子のがんばりを認める。



2 過保護になりすぎない

子どもが考えて行動を起こす前に親が先に手を出してしまう。

(NG言葉)

- ・お母さんがやってあげるから。 ・ほら、だから言ったじゃない。

(自己肯定感を高める言葉)

- ・どうすればいいと思う? ・あなたはどうしたいの?

次のような言葉かけも重要です。

- ・「ありがとう」「助かったよ」という子どもへの感謝
- ・「さすが」「すごい」など、期待を上回る驚きと承認
- ・「いつも応援しているよ」「そういうことはだれにでもあるよ」「いつものあなたらしくないよ」など、失敗や自信をなくしているときの言葉

※ 先ずは子どもにさせてみるのが大事です。



3 子どもの気持ちに共感する

話をきちんと聞いて、本人の気持ちを受け止めてあげる。

(NG言葉)

- ・だからダメと言ったじゃない。
- ・泣いてもどうにもならないでしょ。
- ・悔しいなら最初からちゃんとすればよかったのよ。

(自己肯定感を高める言葉)

- ・それは悲しいね。悔しいね。
- ・がんばっていたのに、力が十分発揮できなかったんだね。

無条件の愛や信頼を伝えることで、子どもは親の愛情を受け入れ安心するとともに、次はがんばろうと再び前向きな気持ちになることができます。そしてそれが自己肯定感を高めていきます。子どもに限らず、大人もそうだと思います。相手への一言・言葉かけを大切にしたいものです。「ちょっと待って!一言言う前に深呼吸」

新1年生の体験学習及び保護者説明会実施

1月30日に来年度入学する新1年生の体験学習を行いました。現1年生が新1年生のために紙芝居や絵本を読み聞かせしたり、フルーツバスケットを一緒にしたりと優しく接する姿が見られました。新1年生のみなさんも楽しく学べたようで、校内の施設を見て回る時にはとてもリラックスし、自分らしさを発揮しながら見学できました。その間に、保護者の方々には、入学説明会や「子育て講座」を受講していただきました。4月から始まる学校生活に向け、準備が始まっています。



現1年生による紙芝居や絵本の読み聞かせ

来年度の1年生...楽しみに待っています

保護者説明会(子育て講座)

昔の遊び ~1・2年生と高齢者の方々との交流~

2月8日、新型コロナウイルスの影響で3年間できなかった「昔の遊び」を開催することができました。羽島小1・2年生のために12名もの高齢者の方々にお集まりいただきました。コマ回しやお手玉などを一緒に楽しみました。中には、竹馬を自作してこられた方もいらっしゃり、子供たちも寒さを忘れ大喜びで昔遊びに夢中になっていました。御協力どうもありがとうございました。



学校保健委員会・家庭教育学級

2月6日、学校保健委員会と家庭教育学級閉講式を開催しました。学校保健委員会では、学校医の牧野先生による「脂質異常症とは」、家庭教育学級では、市立図書館副館長である横手先生による「読書習慣について」講話をいただきました。学び合うよい機会となりました。多数の御参加どうもありがとうございました。



3月行事

2月29日(木) 授業参観・学級PTA

3月 1日(金) お別れ遠足

6年生を送る会

9日(土) 土曜授業

22日(金) 卒業式

25日(月) 修了式・離任式

※ インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の状況しだいでは、行事の中止、延期または内容を変更する場合があります。御理解の程、よろしくお願いいたします。